



山下千鶴子

小諸市教育委員会

こもろの時間

問 小諸市教育委員会事務局

広 報こもろ8月号でお知らせしましたように、学校再編計画策定に取り組みます。少子化の波はいずこも同じで、市内6小学校も年々児童数が減少することが試算されています。ICT化にも拍車がかかり、学校も一人一台端末のパソコン導入の時代となりました。学校教育も変革の時を迎えています。近い将来を担う小諸の子どもたちの学びはどうあったらよいか、現状の

課題に向き合いながら皆さんと考えあいたいと思います。

今 月から「広報こもろ」のなかで、教育委員会が「小諸市の教育分野の現状」をお知らせする新コーナーをスタートします。学校では、「国語の時間がはじまるよ」「次は、算数の時間」という言い方がされます。それにならって、小諸市民の皆様と共に小諸の教育について考える本コーナーを、「こもろの時間」というタイトルとしました。

子 どもは、どのようにして発育発達していくでしょう。赤ちゃんを経て幼児期、そして学童期の4～14歳ころには、脳も内臓も筋肉もしっかりと成長し、ある程度が形作られてしまいます。この大事な時期は、幼稚園や保育園、小学校、中学校での集団生活での学びの時期とまさに一致しています。「いま小諸市の保育園では、学校では…」の視点をもって、その現状をお知らせしてまいります。

まずは、小諸市の学校教育のこんなところから
毎月お知らせしていく予定です。

学校給食



栄養バランスの取れたおいしい給食を提供する「自校給食」。

英語教育 (ALT)



英語をより身近に感じてもらうために
ALT (Assistant Language Teacher) を配置。

GIGAスクール構想



2019年、文部科学省が発表した「GIGAスクール構想」。
学習用端末を一人に一台。時代に合わせた学びの形。

学校再編計画

教育委員会では、様々なかたちで検討を重ね、パブコメ・説明会を経て、小諸市学校再編基本構想を策定。

今後は、「学校再編計画」を策定していきます。



9月1日(木) 日直こもろん